

## 【活動報告】

◎株式会社オモレイ杯【2016年4月2日 大阪市中央体育館】

\*10分×2のハーフゲーム

清風 35 — 11 大阪府立三国丘高校

Aチーム3年生、Bチーム2年生の2プラトン形式で臨みました。Aチームは、シュートの確率は悪いもの、①DFの頑張り②DFリバウンドの獲得③速攻を出す、というテーマを終始徹底できた試合でした。Bチームは、「やろう」とする意欲は十分感じ取れますが具体的にプレーに表現できず空回りの状況でした。

清風 40 — 27 帝塚山学院泉ヶ丘高校

Aチームは内容充実。Bチームはミス連発。警戒心や注意力がまだまだ足りません。各個人の取り組む姿勢の真剣さや意識が高まってくると警戒心や注意力は自然に高まってくると思います。その中で試合経験を積めば大きく成長するものですが、現状は経験ではなく単なる体験だけになっている状態です。

清風 39 — 26 大阪府立渋谷高校

Aチームは戦術を試しました。良い内容でした。Bチームも戦術を試しましたがチグハグな内容でした。

清風 42 — 25 大阪府立河南高校

現チームで臨んだ昨年の8月の練習試合の段階では50—100くらいで負けました。その時は、かなりの力の差を感じた記憶がありましたが、今回は終始本校のペースで試合ができました。しっかり守れてリバウンドを獲得でき、走れたことが大きな要因です。非常にチームの成長を感じ取れた試合でした。インターハイ予選が楽しみです。

◎第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会大阪府予選  
(インターハイ予選)

Cブロック 2回戦 【2016年4月24日 大阪市立汎愛高校】

清風 70 — 50 大阪府立泉島取高校

開始早々オフェンスリバウンドを獲得し得点に繋げリードしましたが、相手も外角のシュートがよく入り、次第に追いつかれ接戦となりました。現チームは公式戦で勝った経験が少ないため、緊張感から3ピリオドまではあまり足が動かず、気持ちだけが前に出てしまい、本校の持ち味を全く発揮できず苦しい展開でしたが、4ピリオドからは持ち味の「走り」を表現することができました。1月の新人戦で持ち味を発揮できず、悔しい初戦敗退を味わった分、この勝利は本当に良かったと思います。

Cブロック 3回戦 【2016年4月29日 大阪府立香里丘高校】

清風 53 — 46 大阪府立三島高校

相手の上手さにかなりやられました。特に相手の7番の頑張りは凄かったです。ほとんどの学校がこの大会で3年生が引退するため、普段以上の力を発揮することはよくあるのですが、今日はそれに対して完全に「受けて」しまいました。どうしても相手の1対1を守ることができなかったので、4ピリオドでDFを変化させ、相手の足を止めることに成功しました。そこからやっと本校の攻撃面での持ち味が発揮されました。シュート(特にゴール下シュートとフリースロー)の確率が悪すぎた中で本校はよく我慢できたと思います。

